



### 3 ローマの城 – 1,3 Km

ポンテヴェッキオのガレージから始まり、同じ名前の橋を渡ってまっすぐに続いて下さい [サンタマリア](#) [を經由](#)街の南門から名をとる通り。 WWIIのNazi鋌山にもかかわらず、中世のタワーハウスのいくつかはまだ見ることができます。 数分で、メルマトヌオヴォに到着します。 [ストロー市場またはPorcellino](#) [<a>](#)、[ワイルドボアーのブロンズ噴水から派生する名前](#) [ピエトロ・タツカ](#) 1600年代に、大理石で保存されたローマの元のコピー [ウフィツィ美術館](#) お問い合わせ [トラデイション](#)は、豚の鼻に触れて噴水にコインを投げることで、フィレンツェに戻ることができます。

あなたが入る市場の周りに行く [お問い合わせ](#) [ポルタ・ロツサ](#) 左に数分後には、 [パラッツォ ダバンザテ](#) [I](#) お問い合わせ 建物は、14世紀半ばに戻って、元々ダヴィツイ家に属し、その後ダバンザテイ家族に渡され、19世紀半ばに放棄された状態に落ち、フローレンテヌアンティークディーラーの直感のおかげで、 [Elia](#) [ボルピ](#)世界中のお客様をお迎えするミュージアム・ショールームになりました。 1910年以来、建物は博物館に変身しました [カサ・アンティカ](#) お問い合わせ その構造は、中世のタワーハウスからルネッサンスの宮殿への移行をマークします、オフィスやショップとして使用される地上階のログヤを持ちます、上層階は家族に住んでいました。

建物の前で通りをとり、右折すると、 [ピアッツァ・デラリパブリカ](#)、もともとフォーラムのローマのカステルムとシートの中心。 イタリアの統一と国の首都のフィレンツェからの通路で、残念ながら歴史的な中心部を「改装」し、広場や建物を囲むようにしました。 広場の中心には、ローマのフィレンツェの中心を象徴する柱です。 左に曲がる(戻る) [アルノ](#) しかし、あなたは9世紀の変換の影響を受けていない建物を満たします: [アール・デルラ・ラナ](#) 16世紀初頭に建ち、市内で最も強力な企業の一つに家を構え、 [オルサンミケーレ教会](#) 後ろから。 教会の起源は、ロンバルドスに戻り、その後、サン・ミケーレ(オルトのSan Michele)専用のオータブルを建てた8世紀に。 1239年頃から1290年頃に破棄 [アルノルコ・デイ・カンピオ](#) 穀物市場を建設(建物の上部階を説明します)。 建物はまた、聖母のイメージのおかげで、礼拝の場所になりました、火で焼いたイメージ、教会に建物の変換をもたらしました(新しい食料品は、公共の建物の後ろに建てられました)。 マーブル・タベルナクルは、教会の外側の周囲全体に沿って差し込み、各アート内では、独自のパトロン・シントが実行されたと呼び出されました。 大理石のマイナー・アート、 [主な芸術](#) お問い合わせ 本日の彫像は、月曜日に上層階を訪れる必要のある原画です。 作品は、14世紀末から16世紀末まで続く美術の一例です。 ルネッサンスの最も重要なアーティストは、そこに働いた: [ログイーン](#), [ブルネレスチ](#), [ジベルトリ](#), [ログイーン](#) そして、 [ヴェルロツキオ](#) 少数の名前だけ。 非常に近い [オーサンミケーレ](#) また、いわゆる [ダンテの家](#) お問い合わせ 街のこの中世の角で、 [アリヒ](#) 生まれ 1265年 1965年(昭和40年)に市町村で購入した家が博物館として開館しました。